

# Recharge Power との戦略的業務提携について

“系統用蓄電所の大量供給・大量受注の一貫体制を構築”

2026年12月9日

株式会社グリーンエナジー&カンパニー



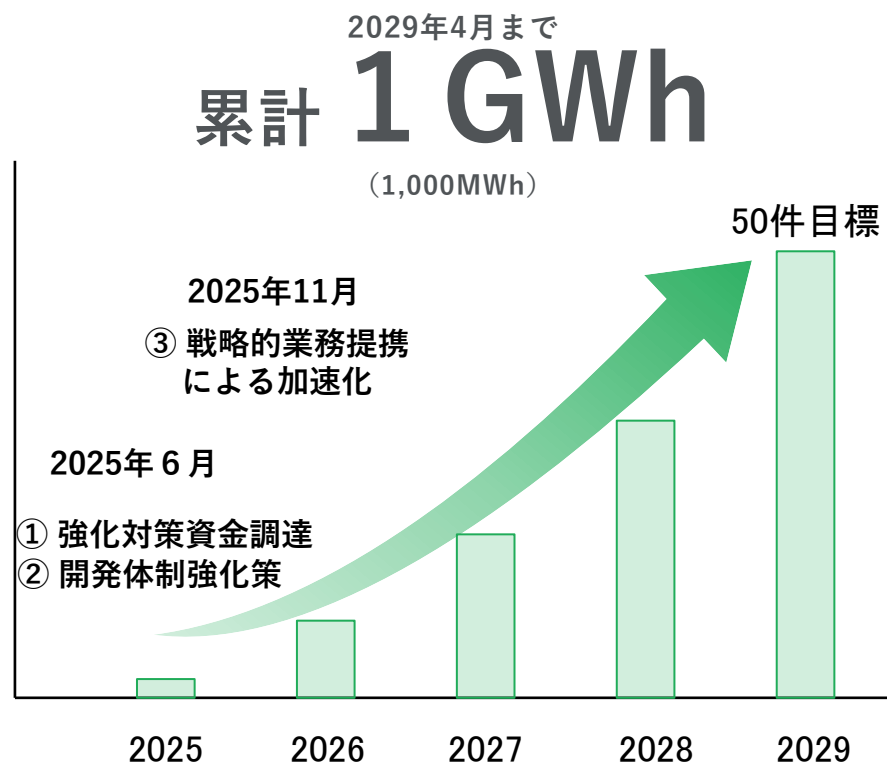
証券コード1436

# ① 戦略的業務提携の概要

# 系統用蓄電池事業開発の加速化に向けた戦略的業務提携

本年6月開発強化に着手し進捗は順調だが、加速化の為に台湾トップのRecharge Powerと提携

## 中期経営計画「Green300」 系統用蓄電所事業



2025年6月

① 強化対策資金調達実施

開発資金として  
12億円調達

2025年6月

② 開発体制強化策導入

開発目標数は  
前倒しで達成

一貫体制構築への加速化

2025年12月

③ 戦略的業務提携

台湾で業界トップ  
Recharge Power  
との協働

# 両社が直面する課題を戦略的業務提携により補完し合い解決

## グリーンエナジー&カンパニー

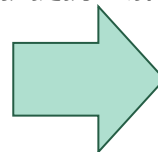
### 系統用蓄電池事業開発での強み

- ・ 太陽光発電所及び蓄電所でのEPC実績
- ・ 上場企業として優良顧客からの信頼獲得
- ・ 大量販売対応への充実した営業体制

### 自社単独での事業開発の加速に向けた課題

- ・ 大量な用地獲得に潤沢な資金が必要
- ・ 蓄電池でのO&Mに関する知見は限定的
- ・ アグリゲーションの自社開発は限定的
- ・ 蓄電池に関する実績のある技術者の不足

業務提携で解決



## Recharge Power (台湾)

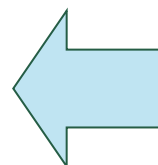
### 子会社REENSによる日本国内での開発の課題

- ・ 用地を獲得をしてもEPC（建設）要員不足
- ・ 台湾企業に対して未だ優良顧客の信頼は薄い
- ・ 大量に国内販売できるだけの人員不足

### Recharge Power (台湾) の強み

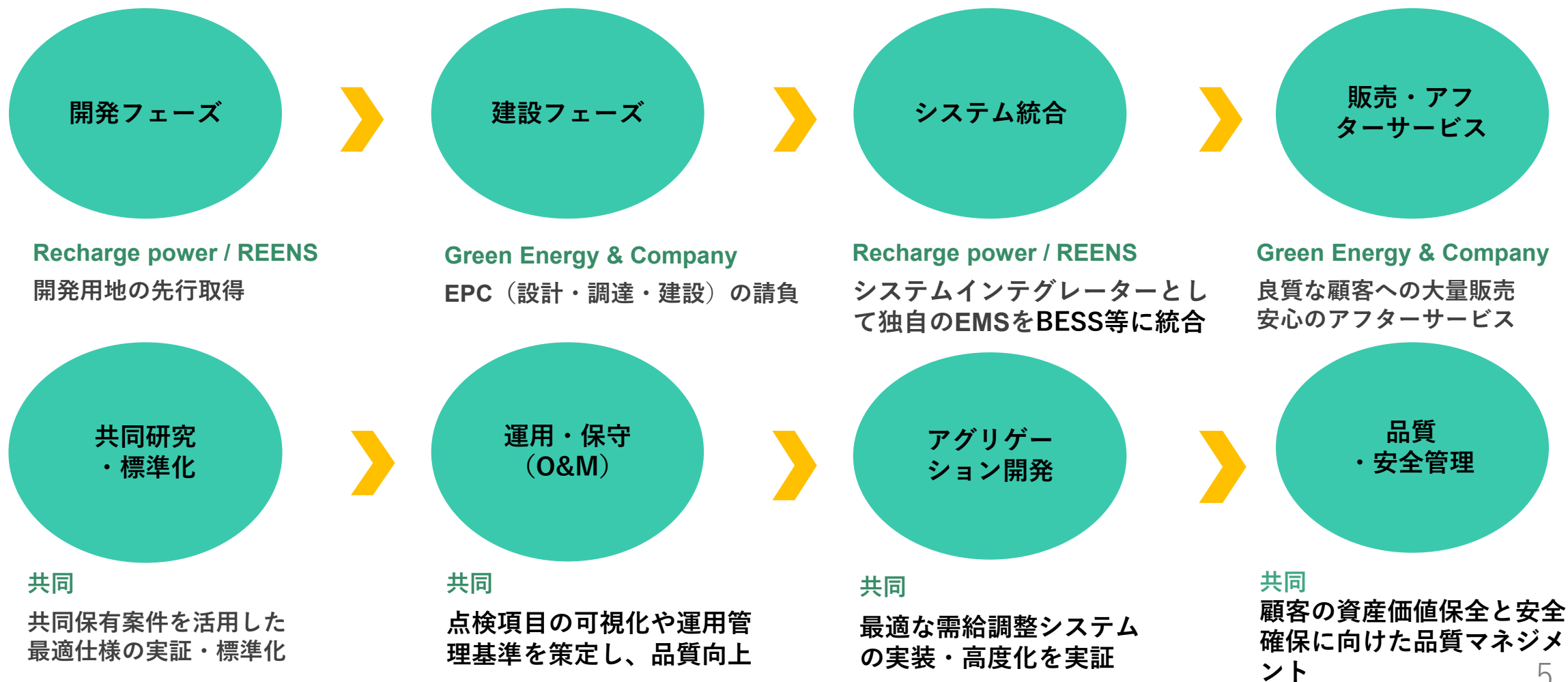
- ・ 潤沢な資金で迅速に多くの用地獲得済み
- ・ 台湾蓄電事業でのO&M実績から支援が可能
- ・ 台湾のアグリゲーション技術の導入
- ・ 豊富な経験を持つ技術者集団を国内外に保有

業務提携で解決



# 戦略的業務提携の内容

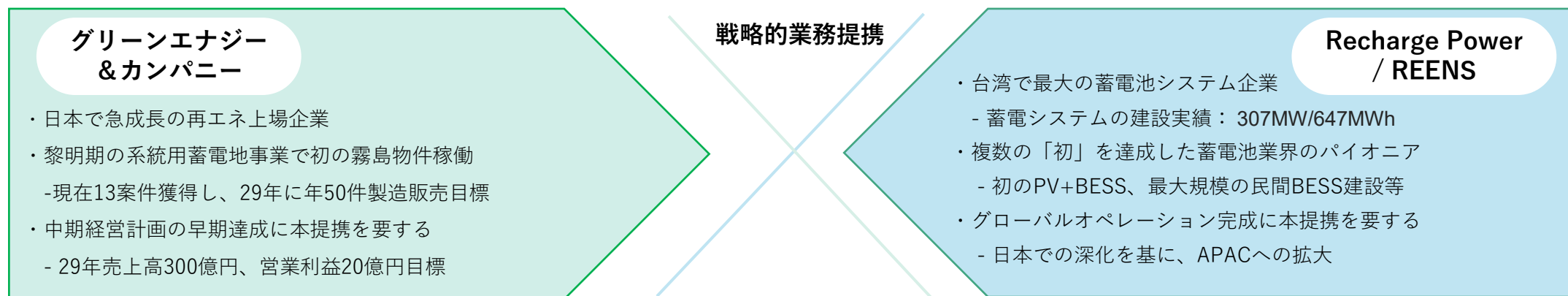
両社の強みを活かして役割分担を明確にし、大量の供給・受注を円滑に運営を行う一貫体制を構築



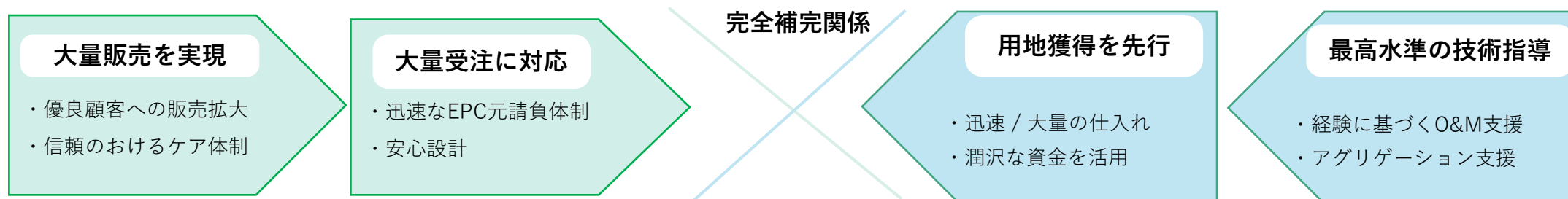
# 系統用蓄電池事業の一括受発注体制に向けた戦略的業務提携

両社が双方の強みを活かし協働することで系統用蓄電池業界のトップ企業となることを目指す

- ・ 最高水準のエンジニアリングを用い最先端のO&M及びアグリゲーションの技術を確立する
- ・ 最終顧客に対して最高水準のサービスを提供する



両社の強みを融合し国内系統用蓄電所の大量供給・受注の一貫体制を構築する

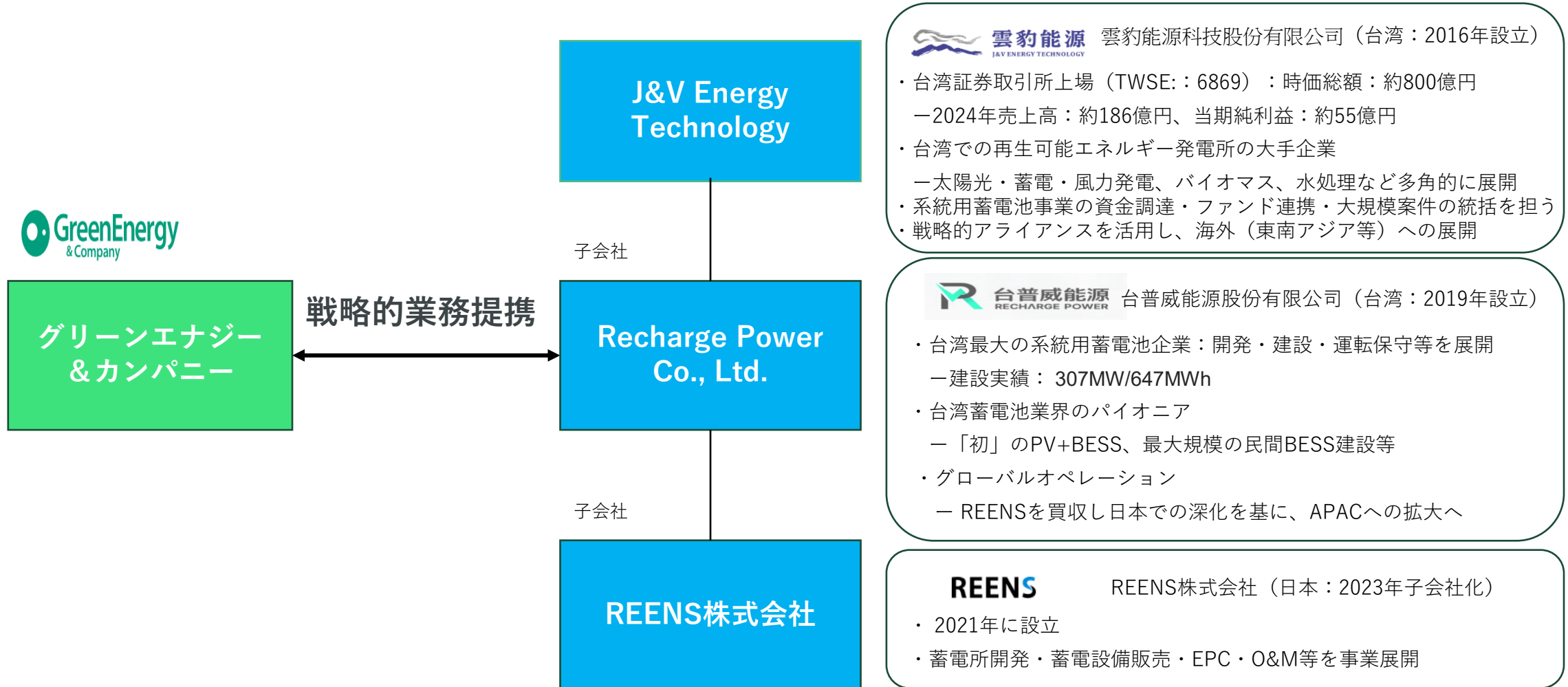


## ② Recharge Powerの概要

# Recharge Powerの会社概要



当社は、両社で双方の強みを活かし協働することで系統用蓄電池業界のトップ企業となることを目指す





# 台湾の蓄電インフラの進化から見た国内系統用蓄電池の発展経路

Recharge Powerの海外戦略：日本に5年先行する台湾市場での蓄電池事業を日本市場へ展開

台湾：Phase 1

Front-of-Meter

系統連系側蓄電システム

電力会社の送配電網側に設置、系統の安定化や需給調整を目的とした蓄電設備の拡大

2020 – 2023

台湾：Phase 2

Behind-the-Meter

需要家側蓄電システム

電力価格制度改革および大口需要家への義務化を背景に、企業による蓄電導入が加速

2024 – 2026

台湾：Phase 3

Microgrids

分散型書規模電力網

地域や施設単位で分散電源と蓄電池を統合し、自律的に運用できる小規模電力網

2026 >>

国内：Phase 1

Front-of-Meter

低電圧/高電圧系統用蓄電所の拡大期

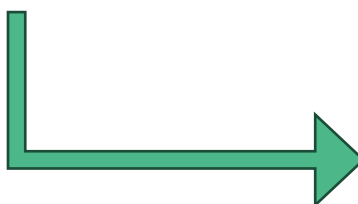
2024 – 2026

国内：Phase 2

Behind-the-Meter

特別高圧系統用蓄電所への発展期

2026 >>



# Recharge powerの競争優位性を活かし両社で日本での先駆者に

当社は、Recharge Powerの豊富な実績と国際的な調達力を活かし、両社で日本でのリーディングプレイヤーを目指す

## 豊富な実績

- **307MW/647MWh** の実績を有し、建設、運転・保守（O&M）、および系統連系（AC）において豊富な経験を有しています。

## 国際協業と調達体制

- これまで**国際的な投資ファンドや顧客との協業**を重ねており、現在は日本市場への事業拡大を進めています。
- 数百MWh規模の蓄電システム（BESS）を調達しつつ事業拡大を図っており、**国際的な調達ネットワークを活用**することで、蓄電システムサプライヤーに対して高い交渉力を確保しています。



## 先端技術

- **台湾のエネルギー貯蔵分野において、複数の「初」を実現しています。**
  - ・ 台湾初のAFC（Automatic Frequency Control：自動周波数制御）プロジェクト
  - ・ 台湾初のPV+BESS（太陽光＋蓄電池）プロジェクト
  - ・ 台湾電力（Taipower）初の自社保有型BESSプロジェクト
  - ・ **民間最大規模のプロジェクト**（200MW／334MWh）
- **日本市場よりも約5年先行する最先端の研究開発技術と確かな実績を有しています。**

当社は、台湾およびその他の地域におけるBESS（蓄電システム）応用の高度化に注力することで、**EMS（エネルギー管理システム）分野での競争優位**を維持しています。

### ③ 系統用蓄電所開発の共同開発目標

# Recharge powerとの共同開発目標について

グリーンエナジー  
&カンパニー

## 自社高压案件実績 14件

自社案件所在地	定格容量	完成時期
鹿児島県霧島市	8MWh	2024/6月
千葉県印西市	8MWh	2025/3月
栃木県佐野市	8MWh	2025/7月
福島県二本松市	8MWh	2025/10月

自社案件所在地	定格容量	完成予定時期
大分県宇佐市	8MWh	2026年予定
長野県上田市	8MWh	2026年予定
徳島県吉野川市	8MWh	2026年予定
長野県上田市	8MWh	2026年予定
和歌山県有田郡広川町	8MWh	2026年予定
京都府綾部市	8MWh	2026年予定
京都府福知山市	8MWh	2026年予定
宮崎県串間市	8MWh	2026年予定
鹿児島県霧島市	8MWh	2026年予定
鹿児島県鹿屋市	8MWh	2026年予定



Recharge Power  
/ REENS

## 共同高压案件目標 20件

### 共同目標

- (1) 2027年4月期（2027年4月）までに  
高压案件を全国各地20カ所の共同開発
- (2) 高压案件の共同保有
- (3) 特別高压等の大規模案件2カ所の共同開発

共同案件所在地	定格容量	完成時期
福島県西白河郡矢吹町	8MWh	2026年予定

# 2025年12月9日 戦略的業務提携の覚書を締結

日本の蓄電池事業発展の将来を見据えた完全補完型戦略的業務提携の締結

<両社社長握手の写真>



右：Recharge Power Co., Ltd. CEO Spencer Feng氏  
左：株式会社グリーンエナジー&カンパニー 代表取締役社長 鈴江 崇文

<Recharge Power社 宜蘭特別高圧蓄電所の写真>



<宜蘭特別高圧蓄電所視察時の写真>



本資料は、2025年12月9日に株式会社グリーンエナジー＆カンパニー（以下、「当社」といいます。）が公表したプレスリリース「Recharge Powerとの戦略的業務提携の締結に関するお知らせ」の補足説明資料として作成したものであり、当社が発行する株式その他の有価証券の取得の勧誘または売買の推奨を目的とするものではありません。

本資料に記載されている当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他将来に関する情報は、本資料作成時点における当社グループの判断または見解に基づくものであり、様々なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の経営成績、財務状況、事業展開その他の結果は、本資料に記載された内容とは大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている業界・市場動向または経済情勢等に関する情報は、信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性、信頼性、網羅性について当社グループは何ら保証するものではありません。

さらに、本資料には当社グループが一定の前提に基づいて想定した将来の潜在的な収益機会に関する情報が含まれている場合がありますが、これらは将来の業績を保証するものではなく、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。

本資料の内容は、本資料作成時点の情報に基づくものであり、今後予告なく変更される可能性があります。当社は、本資料の内容を更新、修正または確認する義務を負うものではありません。